

ジャンル / 短歌

Tanka (tanka poem)



# 岡井 隆

OKAI Takashi

## 代表作

『禁忌と好色』（1983 年）  
 『親和力』（1990 年）  
 『岡井隆コレクション』（1995 年）  
 『ウランと白鳥』（1999 年）  
 『馴鹿時代今か来向かふ』（2005 年）  
 『岡井隆全歌集』（2007 年）  
 『ネフスキイ』（2009 年）  
 『注解する者』（2010 年）  
 『X - 述懐スル私』（2011 年）

ほか多数

## 活動略歴

1928 年 名古屋市出身。父はノリタケカンパニーリミテドの技術者、専務取締役。旧制・愛知一中（現県立旭丘高等学校）、旧制第八高等学校、慶應義塾大学医学部卒。医学博士。

1946 年 「アララギ」参加、土屋文明の選歌を受ける。その後近藤芳美を中心とした「未来」創刊に参加。

1955 年 塚本邦雄、寺山修司との交流し前衛短歌運動の旗手の一人となる。

1970 年 医師を辞し隠遁、あらゆる文学活動を停止。その後歌集『鷺卵亭』を発表して歌壇に復帰。

1983 年 『禁忌と好色』で第 17 回遼空賞。中日新聞・東京新聞に『けさのことば』連載開始。中日歌壇選者就任。

1985 年 W・H・オーデンらの影響からライト・ヴァースを提唱。

1993 年 歌会始選者となり宮廷歌人となる。その後宮内庁御用掛。

2016 年 文化功労者選出。

2020 年 没。従四位叙位、旭日中綬章追贈。

参考／東京新聞（2020 年 7 月 12 日 短歌研究社刊）  
 『評論集『岡井隆考』』江田浩司（2017 年）

OKAI Takashi (1928– 2020/ Tanka Poets)

Born and raised in Nagoya. He joined the tanka poetry society "Araragi" and composed realistic tanka poems, but in 1951, while still a student at Keio University's School of Medicine, he founded the tanka magazine "Mirai." While working as a hospital physician, he was also involved in the avant-garde tanka movement, expanding the possibilities of expression that reflected ideology and social consciousness. His critiques and comments were also closely watched beyond the world of poetry, and he served as a judge for the Imperial Court Poetry Contest.

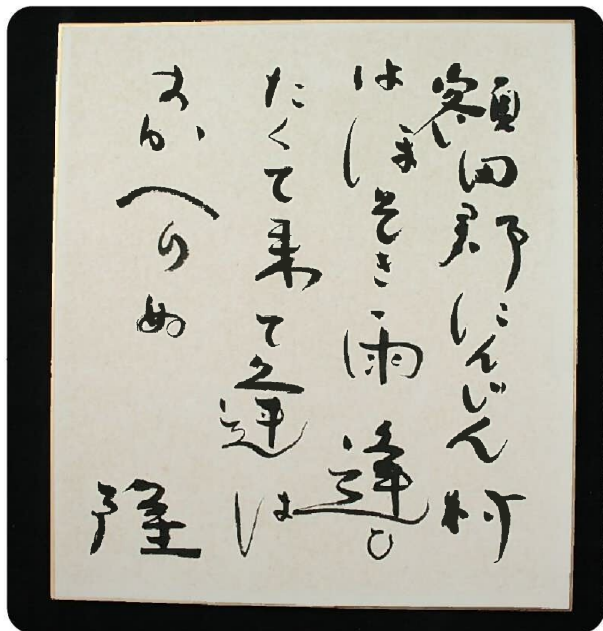
## ジャンル / 短歌

Tanka (tanka poem)

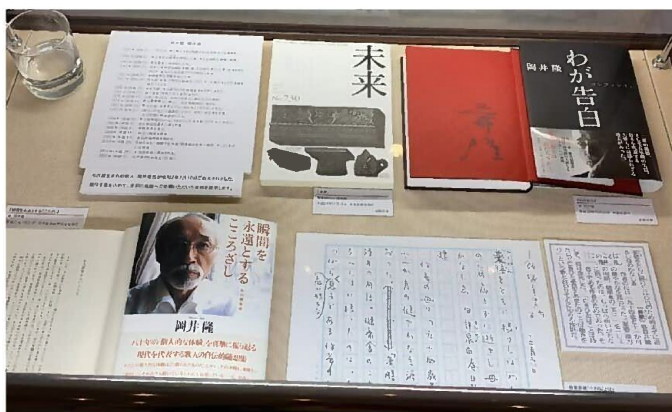
## 名古屋市収蔵の資料

## ／岡井隆

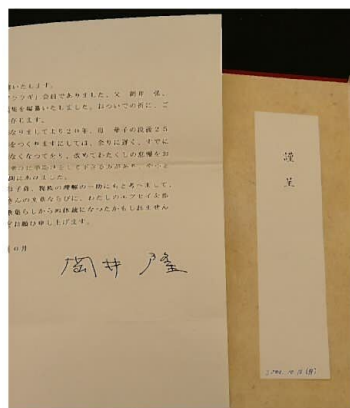
(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to OKAI Takashi in Nagoya City.  
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,  
City of Nagoya.

←岡井隆氏直筆短歌色紙。

「額田郡にんじん村はほそき雨  
逢ひたくて来て逢はすかへりぬ 隆」

↑文化のみち二葉館 常設展示より。

↑『岡井弘・華子歌集』 岡井隆編、  
砂子屋書房  
刊行の由来とサインがある。

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。  
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。